誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト
ZERO PROJECT
2023
私たちで救える命がある

私たちは誤嚥性肺炎ゼロを目指しています

【誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト】

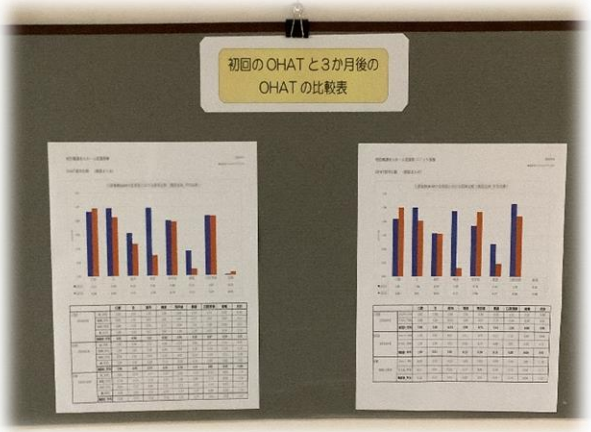
への取組み紹介

今年の５月のホームページにて紹介をさせていただきました、「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」について紹介いたします。

【誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトとは】

介護現場に正しい口腔ケアを届け、誤嚥性肺炎をゼロにすることを目的として 2016 年に設立されたプロジェクトです。(株)クロスケアデンタルの誤嚥性肺炎の実態調査で、100人規模の施設では年間に約 20%弱の入居者が肺炎を発症し、その中の多くの方が施設に戻れず死に至っていることが分かりました。このデータをもとに 2017 年 8月から、介護施設への口腔ケアが開始されました。介護スタッフの口腔ケアによって、開始後すぐに肺炎を激減し肺炎だけでなく全ての疾患も減少し、入院日数は全施設合計で平均約 50%以上も削減される結果が得られています。

5/19 には、(株)クロスケアデンタルの瀧内博也氏/歯学博士と白川智子氏/理学療法士が来苑され、このプロジェクトの第一歩となる、入所者様（83 名）の、OHAT（Oral Health Assessment Tool）*歯科専門職でなくてもお口の機能をアセスメントできるように作られたスクリーニング方法をとられ、9/5（火）には、オンラインにて、２回目の OHAT を実施しました。現在少しずつですが、効果が出てきているようなので、今後も口腔ケアを効果的に実施していき、誤嚥性肺炎ゼロ、入院日数が減少するよう、職員一丸となって取り組んで参りますので、皆様方のご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。



みんなの「生きる」を
社会福祉法人